

P8310594.JPG 2020/05/22

慶応二年五月十八日より慶応二年五月廿二日まで

P8310594_right

餅菓子等持参、須崎伯母小品持参、常次郎婚嫁納采の吹聴有之旨、

十九日 丑 薄陰漸に晴

太田（忠）来り面す、外金並三港の心願の旨、藤村（清）繰上願にて来り面す、石川 初て来面す、柳亭来り鮮魚三尾贈らる、且同人紹介の墨陀邸普請屋□方へ、部屋のもの共押て行の義に付き周助へ談有之旨、内々申し聞る、礪川より墨陀邸家見として陶器菓子入同蛤形中皿五、菓子一小重贈り越す、出 殿、詰番、明日支配向き志願の義（もの）、吟味いたし候清五郎を以て申上る、寺山小君菓子一折持参、木村清志願の義頼聞る、明日五郎次御用召の趣伝承せしにより藤尻を急ぎ番町へ遣す、柳亭来り今朝の一条につき同人方と久左衛門の際に葛□を生じ哺の談話有之煩且愚可厭、富沢叔母小品持参（以上） 兩人とも夕

P8310594_left

餐を勧む、番町より乗馬借用の義頼越す

廿日 寅 晴

第八時揃に而て朝比奈甲州宅於みて支配向願の者吟味有之、右へ出席豫州、□州良助参会、正覚稽古に来る、番町へ賀として太助遣し旨、保三来る、番町へ賀として行き亭せり□□に入帰宅、今日セフリヨン義、展観場所一見相済、明日、明後日の内余に面晤の義申立候旨弥一相越て申□旨、広沢（悦）本日吟味済の挨拶に来りし旨

廿一日 卯 雨断続

友野（力）志願書町田（耕）よりさし越、□成し願也、松盛斎稽古に来る、出 殿

廿二日 辰 雨断続午より漸晴

（内は細字双行（二行に小さい文字で二行書き）などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。